

子育てママをハッピーにする「トモラクの家」が 第12回キッズデザイン賞を受賞

～ 子供の安心安全に配慮した性能や機能が評価されました ～

「アルネットホーム」ブランドで注文住宅を展開する、大賀建設株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役：須賀 亮）は、第12回キッズデザイン賞（主催：キッズデザイン協議会、後援：経済産業省、消費者庁）において、子育てママをハッピーにする「トモラクの家」がキッズデザイン賞を受賞いたしました。



KIDS
DESIGN
AWARD
2018

◆子育てママをハッピーにする「トモラクの家」で受賞

近年、共働き世帯が増加しており、共働き夫婦においては育児に掛ける時間が長い、睡眠時間が短い。

子どもが小さいうちは、子どもの身支度、帰宅時の手洗い、学校の宿題などは親がサポートしてあげることが多く、育児と家事の両立にかかる時間が課題となっている。トモラクの家は弊社のオーナー様からアイデアの募集を行い、これから家づくりをする子育てママをハッピーにする商品開発を行いました。家事動線と子どもの生活動線「キッズ動線」をすべてワンフロアで完結させた動線を考え、子どもの自立促進と家事シェアで家族みんなが協力して暮らせる住まいを実現しました。当社では今回の受賞を通じて、家づくりへの参加促進を目指すとともに、キッズデザインが目指す社会づくりに貢献できるものづくり、ことづくりに真摯に取り組んでまいります。

◆キッズデザインとは

キッズデザイン賞は、「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスで優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。子どもが使う製品はもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てへの配慮があれば応募可能です。日用品から住宅、街づくり、ワークショップ、調査研究まで幅広い分野が対象となっています。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

◆アルネットホームは過去にも「キッズデザイン」を受賞しています



第 11 回キッズデザイン賞「床下タイムカプセル」

子どもが家づくりを通して参加したワークショップ等のイベント写真や記念品、10年後の自分と家族への手紙をタイムカプセルに入れて住居お引渡し時に床下に格納し、10年後の10年点検時に床下から取り出して開封します。家づくりを行っていた当時の思い出を10年後に家族が集まり、改めて振り返ることで、子ども自身の成長と「共に過ごしてきた住まいの成長」への気づきを与えます。共に過ごした10年という年月から得られる住まいへの愛着と価値を実感しながら「ものを大切にする心」を育み、家族がコミュニケーションをとる機会をつくることができました。保全を目的とする一般的な住宅点検や床下という余剰空間に子どもの創造力育成という新しい価値を付与する取組になります。

<https://www.value-press.com/pressrelease/188357>



第 9 回キッズデザイン賞「子供名刺」

家づくりでは多くの人々が関わり進められています。子どもと社会との接点が少なくなっている今、家族が社会の仕組みとともに進める自宅建築は、子どもが社会と接する最良の機会となっています。自己紹介とともに子供名刺を渡すことで、様々な職業の仕事や責任やチームワークの大切さを知る場としてほしい。そのきっかけとなるのが子供名刺です。



第 9 回キッズデザイン賞「大工さんと一緒に自分の部屋づくり」

新築を機に自分の部屋を持つ子どもは多く、ただ親から与えられるのではなく自分で考えて作り上げて行くのが当プロジェクトです。どんな部屋にしたいかを考える「計画」。ワークショップやイベントでの「訓練」。計画と訓練を実行する「実践」。この3つのプロセスで、貴重な体験をし「モノづくり」や「技能習得」で将来の夢を膨らませることができる場となっています。

<https://www.value-press.com/pressrelease/144728>